


資料2-2

長久手市文化の家自主事業報告書

(令和4年4月実施分から5月実施分まで)

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ダンスで作るコミュニケーション はずむカラダはずむココロ		
日時	令和4年5月14日（土）	10時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	林友里菜（舞踊系創造スタッフ） 松林 由華		
公演内容	10:30～12:00 カラダをほぐすワークショップ 12:00～13:00 昼休憩 13:00～15:00 ダンス作品を作ってみよう 15:00～16:00 ダンス作品発表会		
入場者数	8	席設定	20 入場率 40.0%
チケット料金	(前売) 1,000円 (当日) 1,000円		
支 出	報償費	15,000円	
	印刷費	14,615円	
	計	29,615円	
収 入	入場料	8,000円	
	計	8,000円	
回 収 率	27.0%		
アンケート結果	<p>すごく楽しかったです！！ひょうげんダンスはやったことがなかった。（市内、10歳女性）</p> <p>すごかった。時間が進むのは、すごく早かった。やさしかった。（市内、12歳女性）</p> <p>友だちにいこうといわれたから来たけど楽しかった。（市内、9歳女性）</p> <p>自由に表現できてすごくよかった！（市内、13歳男性）</p>		
担当者 コメント	<p>舞踊系創造スタッフ林友里菜によるワークショップ。舞踊系創造スタッフの得意分野を生かす企画内容となった。</p> <p>ターゲット層であったダンス未経験者の参加が多く、参加した子どもたちははじめての表現ダンスを学年を越え、みんなで楽しむことができた。またアンケートにも、ダンスが好きになった、表現が楽しいと知ったなど期待どおりの内容が多く、目標を達成したと言える。今後こうした世代をダンス公演鑑賞につなげていきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 長久手インクルーシブアート展

日時 令和4年5月18日(水)～29日(日) 10:00～19:00(最終日は17:00まで)

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 山本良比古、磯崎亮、川上建次、早川拓馬、奥亀屋一慶 他

公演内容 長久手市インクルーシブアート展

入場者数 472

支 出	ワークショップ等委託費	50,000円
	キュレーション委託(予定)	50,000円
	作品提供協力費(予定)	55,000円
	印刷製本費	13,621円
	計	168,621円

収 入	入場料無料のため入場料収入なし	0円
	計	0円


回収率 0.0%

アンケート結果
 今回はとってもいい機会だったと思う。皆さん才能をもっている方ばかりだが、披露する場が少ないことが課題だったので、今後も続けてほしい。(市外、20代女性)
 障がいを持つ人も健常者も一緒に作り合った展示に感銘を受けた。表現する事の喜びが伝わってきた。(市内、60代男性)
 すごい絵がかざってあった。自分の絵もかざってあってうれしかった。(市内、9歳以下、女性)

担当者
 コメント
 長久手市初開催のインクルーシブアート展。社会包摂(ソーシャル・インクルージョン)を文化の家らしく、「アート」で表現することを目的とした展示である。出展作品については、国内各地で展示された経験のある作家の作品を展示したほか、長久手市内の福祉事業所に通所している方々からも作品の提供をもらい、身近にも素晴らしい作家がいることを紹介した。また、老若男女関係なく作られた「ありがとうの花」を壁一面に展示することにより、誰一人取り残さない世界、みんなが一緒の世界で生きている(ソーシャル・インクルージョン)という事を表現した。この展覧会により、まだなかなか知られていない分野のアートを市民に届けるとともに、多文化共生社会について、市民に今一度考える機会となったと。入場者数も比較的多かったため、今後もこのような展覧会を計画していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	月夜のファウスト		
日時	令和4年5月26日（木）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	串田和美		
公演内容	作・演出・出演 串田和美		
入場者数	112	席設定 138	入場率 78.9%
チケット料金	（前売）フレンズ会員2,000円 （当日）一般2,500円、学生1,000円		
支出	委託費		339,383円
	計		339,383円
収入	入場料		234,000円
	計		234,000円
回収率	68.9%		
アンケート結果	紙芝居か、子どもの一人芝居ごっこか、老人の夢かうつつか、誠の人の一生か、デタラメのようで 真実を感じました。（市外、60代、男性） 時間について、思考についてとても考えさせられる公演でした。（市内、20代、女性） とてもいいホールですね。不思議世界でした、とても。（市外、40代、女性）		
担当者 コメント	まつもと市民芸術館の総監督を務める串田和美による独り芝居。題材はワイフワークともいえる「ファウスト」。中世に実在していた錬金術師ファウスト博士の物語と、串田氏の幼少期の記憶などがないまぜとなった私演劇的独り芝居。森のホールを平土間にし、舞台をやや高い位置に設定し、森のホールならではの舞台を作った。串田氏がホールや舞台設定をととても気に入り、またこのホールで公演をしたいと希望されていた。間引き席が無い客席設定で会場の一体感が生まれ、舞台設定により観客と演者が近くなり迫力がでたため、アンケートでは好意的なコメントが多かった。愛知県内の演劇公演へ積極的に折込を行い、公演直前に券売が急増した。		

令和4年度シネマの楽しみ

期日	開演	名称	入場者
4/14(木)	10:00 14:00	ショウほど素敵な商売はない	33 32
5/12(木)	10:00 14:00	見知らぬ乗客	34 29
6/9(木)	10:00 14:00	雨に唄えば	36 27
7/14(木)	10:00 14:00	おとうと	
9/8(木)	10:00 14:00	素晴らしき哉、人生！	
10/13(木)	10:00 14:00		
11/10(木)	10:00 14:00		
12/8(木)	10:00 14:00		
1/12(木)	10:00 14:00		
2/9(木)	10:00 14:00		

令和4年度 福祉事業（ふくしであーと） 事業報告

コロナ禍で社会から孤立してしまう福祉施設に対して、中庭やバルコニーを利用した訪問コンサートを行う。感染症対策で施設に立ち入らずに屋外で演奏を行うことを基本とするが、デイサービスなどの規制を緩和している施設については、感染症対策を実施しながら屋内での演奏も開始していく。

演奏者：石川貴憲（サクソフーン、フランチイズアーティスト）、菅原拓馬（ピアノ・作曲）

5月27日（金） ハートフルハウス楽家晴 11:00～ 鑑賞者約20人

